

2021年



2021年3月号

# ARK NOW!

### 企業情報



警備副本部長  
兼神奈川地区統括  
兼渋谷支社長  
荒井利幸

#### 2021年アークグループ標語

決めたことをとことん徹底的に実行し、実績を出し笑顔の年😊😊



コロナ禍の中、日々活躍している隊員・内勤者の皆様には深く感謝申し上げます、先日警備業の認定を取得した(昨年12月)警備会社とオンライン商談を行いました、元々は人材派遣会社で工場や配送センターに人材を派遣していた会社ですが、コロナ禍の中仕事が激減し、業態転換を余儀なくされた会社です、平均年齢が30歳代と若く、営業力に期待出来る印象を受けました、一昨年迄の建築ラッシュの時と同じ様な営業では、**おとといおいで**。になりかねません、今お付き合い出来ているお客様からリピートを必ずもらうには営業として何が必要か？隊員にはどのような教育が必要か、支社長は日々追求しなければなりません。最後にコロナ禍の中新しい生活様式に営業のヒントがあるように、**ピンチの時にはチャンスあり**。前向きに取り組んでいきたいと思ひます。

アーク  
コンサルティング  
ジャパン



代表取締役  
社長  
嶋崎 知実

#### ◆豚汁キャンペーンの延長

緊急事態宣言の開始と共に、「コロナに負けるな豚汁キャンペーン」として豚汁の値引きキャンペーンを行っています。豚汁にはビタミン豊富な豚肉、味噌は発酵食品、根菜類は免疫力アップがあるとされています。仕入業者さんの協力も得て、緊急事態宣言中は継続出来ています。お客様にしっかりとお伝えをして、メリットを感じてもらいましょう。

#### ◆カリスマホスト「ローランドの愛した豚汁」

2/27のTBSの「人生最高レストラン」で小町食堂が紹介されました。この番組は有名人がこれまでの人生で思い出に残ったレストランを紹介する番組で、当日のゲストはローランドでした。およそ10年前、まだ彼が売れる前のホストだった頃西新宿に住んでいた時の深夜に通ってくれていて、その時に豚汁と塩鯖を食べた思い出を語ってくれました。実は時間帯の不規則な芸能人の方が多く通ってくれている小町食堂。次の誰かの「人生最高レストラン」でまた嬉しい紹介が出てくることを楽しみに、お客様サービスをしていきましょう。

### アーク警備システム



横浜支社  
支社長  
菅原 章人

#### 日々の生活の中で

緊急事態宣言が延長され未だにコロナウイルスの脅威に脅かされる日々の中、最前線で頑張っていただいてる皆様、いつもありがとうございます。毎日の予防対策などが習慣になり、その行動が当たり前になると意識せずとも行えるようになります。それは日々の警備業務にも当てはまると思ひます。私は、警備業務をするにあたり大事にしているのが『目配り、気配り、心配り』です。この三つの配慮が意識せずとも出来る様な警備を心がけております。最初は意識をしないと実行できずに苦労しておりましたが、毎日やるようになれば自然と身について一つ一つの仕草を当たり前に行える様になりました。しかし、一度身についた癖を無くすことは難しいかもしれません。それは良い癖も悪い癖も同じですね。現場で活躍されている皆様にも悪い癖が減り良い癖が一つでも増えるように願っております。最後にまだまだ寒暖差がありますので、皆様体調には十分お気を付けください。



代表取締役  
社長  
門脇 昭治

## とことんやり遂げよう！

3月に入り気温の寒暖差が大きくこれからはだんだんと温かくなりますが、花粉症や新型コロナウイルス対策にも十分気を付けなければなりません。関東地区の緊急事態宣言解除もまじかですが、解除されても今まで以上に自己管理は引き続き検温・マスク等の活用を行ってください。又、検温表等の会社提出物の徹底もお願いします。東京オリンピック・パラリンピックの開催も近々決定されますがグループのアーキ警備システムが警備参加しますが、是非オリンピックの業務に参加したい人、警備の仕事に興味のある方が、あなたの身近におりましたら是非アークに紹介と参加を勧めてください。アークグループで何事もとことん挑戦しやりとげましょう。



### 営業関連

立川支社 三浦です。

私事ですが、先日身内で不幸がありました。彼は何事も周りに多くを語らず、最後まで1人で耐え頼らずにいました。結果、気付いた時には事態も急変し逝くことになりました。私も早くから気付いてあげることが出来ませんでした。

現場、事務所、警備、取引先、業者、第三者、営業、管制、経営・・・

共同作業もありますが、同じ畑で作業をしながら、皆それぞれで、その先は想定になることが多いです。

自分も、皆様も、周りの方や携わる方たちと、近くにいっても、遠くや背中越しで見えなくとも何をしているのか、何をしてもらっているのか、どのような状況なのか、相手を想い、向き合い、会話、行動し、公私ともに後悔の無いよう懸命に取組み、少しでも共に楽しんでもらいたいと強く願います。

立川支社  
三浦周一



代表取締役  
会長兼社長  
嶋崎 八洲男

## 『建設便利屋』と商いの心配り

### アーク建設便利屋



お助け

#### ①警備関連サービス

警備員、警備計画、カメラ・規制材レンタル

+

#### ②工事支援サービス

工事会社紹介、ドローン、人材紹介、設計補助

#### ③現場運営支援サービス

駐車場手配、事務機レンタル、弁当配達等

#### ④危機管理支援サービス

近隣対策請負、衛生管理請負（検温、除菌等）

現在、アークグループの新しいサービス『建設便利屋』を立ち上げている。一言でいえば、超多忙な建設会社の監督さん達を、様々な面からサポートするサービスだ。目的は、不景気の到来に備えて、圧倒的に他社よりも建設会社と親しくなりオンリーワンの存在になることである。

内容を簡単に説明すると、①「警備関連サービス」と②「工事支援サービス」、③「現場運営支援サービス」④「危機管理支援サービス」の4つに分かれる。特に力を入れているのは②で、一級建築士兼一級施工管理士の後藤さんを採用し、何らかの都合で工事が滞った時にいつでも工事を請負ったり、知り合いの工事会社を紹介したりすることが出来る。それと好評なのがドローンの活用サービス。工事工程を飛躍的に短縮することができ、前回の外壁調査で大変喜ばれリピート要請を受けている。③は地味であるが、現在南品川の現場では、駐車場が満杯で見つからないところを近隣のお寺の空き地を交渉したり不動産屋に予約を入れたりして、所長さんに大変喜ばれている。④は、時流に合った人気メニューです。

実は、この便利屋サービスは、以前にも当社が企画開発していた。その時は「町の便利屋」という観点で、庭の手入れや買い物・掃除の代行や旅行の案内等を行い地域住民に喜ばれていた。今回はその建設版だ。

『お客様に喜ばれる』こと、これが全てのビジネスの原点です。皆さんの警備サービスも同じです。一丸となってお客様に喜ばれ、景気の波を乗り切っていきましょう！